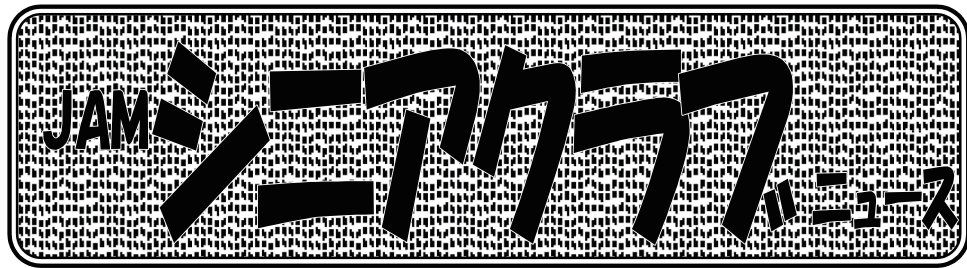


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

第216号

発行日 2025年12月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

第1回幹事会を開催

～会員拡大に向けて、活発な討議～

JAMシニアクラブは12月4日、JAM本部において新年度第1回の幹事会を開催しました。田中副会長の挨拶に続き、宮本会長が次のとおり、政治・

社会の現状と取組み課題について座長就任の挨拶を行いました。

①高市政権の財政拡張路線、金融緩和と政策は円安を背景とする物価上昇に拍車がかかり、国民生活を取り巻く環境はさらに悪化する。

②社会保険料引き下げの財源を高齢者の窓口負担引き上げで補うことは「受診抑制」に繋がり、重病患者や寝たきり患者を増加させる。

③社会保障制度については全世代の国民による納得のいく議論が必要であり、重要な制度変更を連立政権の条件にすべきではない。

④高市首相の台湾有事をめぐる発言や非核三原則見直しの発言など、核兵器廃絶や戦争のない平和な世界を願う日本国民やアジア諸国の人たちに混乱を与えている。

⑤日本社会の抱える諸問題の解決に向けて、全国の仲間や組織内議員と共に政策制度要求の実現に向けて取り組んでいく。

次にJAMを代表して、浜副書記長からは、「喫緊の課題である組織拡大

に全力で取り組んでいく。2026春闘は昨年より2000円引き上げ17000円の要求とした。昨年過去最高の賃上げを獲得したが、格差は拡大している。

格差拡大に歯止めをかけ、物価を超える賃上げに取り組みでいく。郡山りよう参議院議員を大きく育てるために、様々な要望や意見、問題を寄せてほしい」との挨拶がありました。

協議事項では、①2026・27年度役員②表彰③2026年度活動方針の具体化④中央労金への団体加入⑤第2回幹事会の順で議論がすすめられ、それぞれ満場一致で承認されました。

活動方針の具体化では、

①大手労組への具体的協力要請の仕方。

②シニアの意義を単組役員に理解させる活動。

③地協OB会の会員をどのよう

にシニアに加入させるか。

④地協OB会、単組シニアの立ち上げ等の進捗状況。

⑤単組で対象者への説明会をもつてほしい等々、会員拡大について地方の実態を踏まえた、様々な質問や意見提起がありました。

これらの提起については、今後三役会議や現役との連携強化懇談会の場で検討課題として深掘りをしていくこととします。

新年度の役員については、新たに京都の伊藤純夫さんが幹事に選出されました。

主張



菜園は子供を育てて

やれやれ厄介な依頼が飛び込んできた。「シニアの機関紙に私の主張を載せたい」とのことだが、そもそも自分は「老いては子に従え！」をモットーに、自分の主張などをせずにハイハイと言うことを考えている。最近退職年齢が65〜70歳となり、シニアメンバーは70歳以上が中心で、あと10数年生きれば棺桶行である。そのような集団が、政治や社会がどうだとしても聞く耳を持つ人は少数であろう。そもそも未練も期待もないので、少しばかり楽しんで生き続けられれば良いのである。

「二兎を追う者は一兎をも得ず」の状況
茨城シニアクラブ会長 山田良二

まずは会員減少について、現役組織は25労組6365名に対し、シニアは8労組73名のみである。現役執行委員は年初に開催される「賀詞交換会」などで、シニア組織や活動を知っているはずだが、定年した執行委員ですら加入してくれないのが実情である。特に大手組合は福利厚生充実した企業側のOB会があるため、いくら対話を勧めてもOB会を選ぶ方が多い。

参加メンバーの固定化と高齢化も問題である。茨城シニアは年一回のリクレーションと総会・見学会を続けているが、参加するメンバーが変わらず、80歳前後が中心である。このままでは10年経たずに参加者が数名になるのではないかと危惧している。入会しても見ず知らずの方と酒を飲みかわすのは苦手な人も多いだろう。事務局長の奈良さんが努力し魅力あるイベントを企画しているが、新たな参加者がいないのが現状である。だからと言って無理やり活動への参加をお願いすれば脱退にもつながりかねず、難しい問題である。

いずれにしても足を使って一人一人と顔を合わせ、お願いする以外に解決できないと思うが、自分は週4日勤務の身であり時間が取れない。仕事かシニア活動かの「二兎を追う者は一兎をも得ず」の状況である。暫くは「柳が風になびく」ように今の置かれた状況を続けていく他にないが、茨城シニアの組織を任された身としてできるだけ色々な活動に参加し、仲間と楽しみながら続けていきたい。

埼玉
第25回総会を開催
山田順康 事務局長

埼玉シニアクラブ第25回定期総会が11月1日14時から「東天紅JACK大宮店」にて開催され、参加者は会員・役員含めて47名でした。総会議長には小池金次氏を選出し、来賓のJAM北関東今井執行委員長、JAMシニアクラブ宮本会長、埼玉シニア連合・青木会長にご祝辞を頂戴し、来賓挨拶



の後、参議院議員郡山りょう氏が駆け付け、当選の御礼と今後の活動内容、決意表明を行いました。25年度の報告事項として小泉事務局長から一般活動報告、会計報告、牟田会計監査より監査報告がされ承認されました。その後、喜寿の祝いが執り行われ対象者10名のうち出席された3名に那珂会長からお祝い金

が贈呈されました。又、新会員になられた9名のうち出席された4名が紹介されました。

審議事項では第一号議案26年度活動計画、第二号議案26年度予算、第三号議案26・27年度役員選出(新会長・小泉茂、新事務局長・山田順康)、第四号議案退任役員の表彰についての議案がすべて承認されました。

総会終了後、山田新事務局長の司会で懇親会が始まり、懇談は和気あいあいの雰囲気で盛り上がりしました。途中、機関紙埼玉シニアクラブNEWS100号記念で実施したクロスワードパズルの抽選が行われ、10名の当選者が選出されました。夕闇が迫るころ恒例のビンゴゲームに一喜一憂し、参加者はゲットした賞品をお土産に会場を後にしました。

愛媛
第25回総会を開催
藤井正剛 事務局長

11月23日、愛媛シニアクラブは「第25回定期総会」を、役員と参加予定会員があいにく体調不良続きの片肺飛行状態のまま、新居浜市高木町の「レイイグラッソエふじ」で開催しました。総会議長に井関退職者の会副会長の山本氏を選出して進行之しました。冒頭、代表幹事の森永氏が「いま世界各地で戦争や紛争が続いており止みそうにない……



国内外とも先が読めない状況と言っても過言ではありません」で始まり、「最後に定期総会は毎年、勤労感謝の日で開催しています。ここ数年会員総数も参加人数も減少しており、どこかで歯止めをかけ反転に向け、26・27年度活動方針の中で忌憚のない活発な意見とご協力をお願いします」と強く呼びかけました。

来賓挨拶では、立憲民主党松山市議の矢野尚良氏(井関農機準組織内議員)とJAM愛媛地協の副議長である川之江造機支部の山川委員長から祝辞・激励を頂きました。続いてメッセージの披露を、為清事務局次長から紹介されました。議事に移り、2025年の活動経過と決算報告、監査報告、26年度活動方針案と予算案を、いずれも賛成多数で決め、役員の補充選

出では、代表幹事に館良和さんが満場の拍手で決定。森永氏が、退任挨拶として「今年は井関農機創立百周年、私も八十歳になったので井関退職者の会会長もバトンタッチ、一つの区切り……、誠に有難うございました」とお礼を述べられました。

なお活動方針の最重点課題である「シニア組織・会員の拡大対策」は、これまでの方針を基本的に踏襲。①現役中小組合の多くは、60歳又は65歳以降非組合員のところが多いため、JAM方針に沿っての組合員化と併せてシニアの会員か準会員化する二重加入の取組み、会費は減額対応。②組合員規模百名前後の組織で退職者組織の無いところの

新年度中の立ち上げ。③60歳以上の組合員の方に直接個人会員として愛媛シニアクラブへ加入の継続的な働きかけ等を再確認しました。

神奈川
パークゴルフ大会
加藤照雄 事務局長

神奈川シニアクラブは11月4日、開成パークゴルフ場にて第6回パークゴルフ大会を開催し、29名が参加しました。神奈川には、パークゴルフ場は10ヶ所ぐらいあり、協会公認コースは2ヶ所で、開成パークゴルフ場はその



一つです。皆で3コース27ホールを2時間半で廻り、大変くたびれました。

熱戦の結果、スタンレー青春クラブ・加藤利男さんがスコア77で優勝、二位に池田友司さん、三位に竹田陽子さん、女性賞の小林久江さん、ブービー賞に渡辺文子さんとなりました。

競技後は、懇親会が開かれ、競技の健闘を称え、次回の再開を楽しみに散会しました。

広島
グラウンドゴルフ
大会を開催
副代表幹事 川本学

広島シニアクラブは、日帰り交流会を11月16日、広島県山県郡北広島町の「芸北オークガーデン」で開催しました。交流のグラウンドゴルフ大会も、当日は秋晴れでグラウンドコンディションも絶好で22名が参加し、楽しく元気にプレーを

繰り広げました。大会後の会議では、冒頭、井上代表幹事より7月の参議院選挙の結果報告、核兵器廃絶を求める署名運動等への協力依頼があり、続いて森本しんじ参議院議員・郡山りょう参議院議員より当選御礼のメッセージ・ビデオメッセージの紹介後、中間活動、確認事項を岡田寿夫事務局長より報告がなされました。

会議の後は、忘年会を兼ねた昼食懇親会に入りグラウンドゴルフ大会の結果発表が行われ、1位は金子哲男さん(日本製鋼所)、2位が安食尚明さん(東プレ)、3位に久保田和昭さん(日本製鋼所)、ブービー賞に清水康恵さん(HMM)、ホールインワン賞に金子哲男さん、安食尚明さんとなりました。賞品は地元北広島町のお米で皆さんに喜んでいただきました。

最後に岡田事務局長の閉会挨拶を受け、来年の再会を誓い無事に終了しました。

